

第68期

第2四半期報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第68期第2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出・生産の増加を背景に設備投資は持ち直しつつあり緩やかな景気回復の兆しを見せてはおりますが、円高の影響による企業収益改善が弱まり、先行きは不透明なまま推移しております。一方、世界経済全体では、一部欧州諸国の財政赤字や信用不安による金融システム不安の影響もありますが、中国をはじめとする新興国の経済成長に牽引される流れを受け、総じて景気は回復に向かいました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、自動車用バックミラーを主力製品とするミラーシステム事業が自動車の生産台数の増加に伴い増収となり、29,477百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

利益につきましては、国内外において自動車生産台数の増加に伴う増収効果に加え、昨年に引き続き実施した「徹底した収益改善のための体質強化活動」が大きく寄与した結果、営業利益は3,411百万円（前年同期比439.8%増）、経常利益は3,591百万円（前年同期比360.4%増）、四半期純利益1,939百万円（前年同期比2,163.2%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、11月12日の取締役会におきまして、1株につき6円と決定いたしましたので、お受取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 **村上太郎**

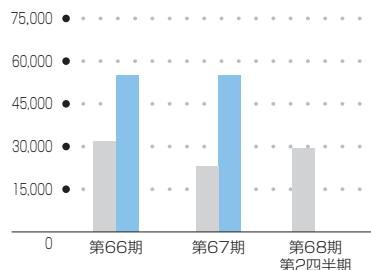
CONTENTS

P 1	株主の皆様へ
P 2	決算ハイライト
P 3	セグメント別概況
P 4	今後の課題と経営戦略・トピックス
P 5	四半期連結財務諸表
P 7	国内外関係会社拠点
P 8	株式の概況
P 9	会社の概況

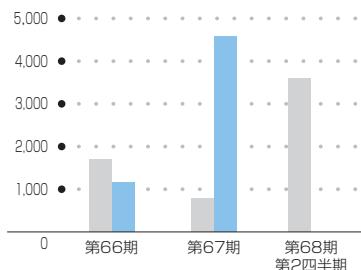
決算ハイライト

第2四半期(中間期) ■
通 期 ■

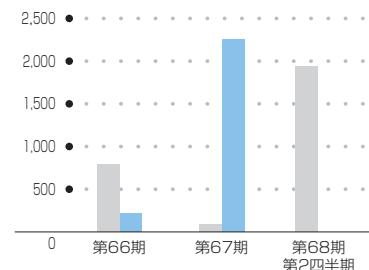
売上高 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)

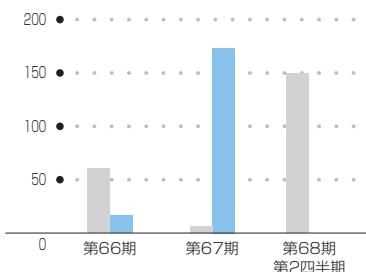


四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)

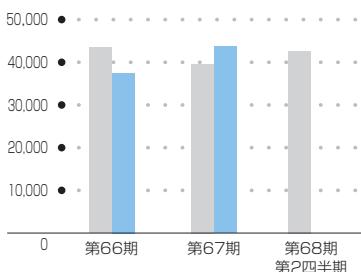


	第66期 (平成21年3月期) 第2四半期	通期	第67期 (平成22年3月期) 第2四半期	通期	第68期 (平成23年3月期) 第2四半期
売上高 (百万円)	31,854	55,047	22,918	54,740	29,477
経常利益 (百万円)	1,714	1,156	780	4,575	3,591
四半期(当期)純利益 (百万円)	795	218	85	2,261	1,939

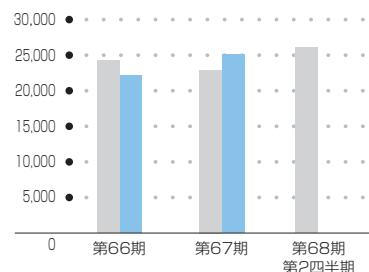
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



	第66期 (平成21年3月期) 第2四半期	通期	第67期 (平成22年3月期) 第2四半期	通期	第68期 (平成23年3月期) 第2四半期
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	60.94	16.76	6.57	173.40	149.78
総資産 (百万円)	43,416	37,514	39,612	43,751	42,654
純資産 (百万円)	24,317	22,121	22,933	25,146	26,063

セグメント別概況

主要取引先であります自動車業界においては、国内ではエコカー減税・補助金制度などの新車購入促進策による需要回復の結果、販売台数は世界的経済低迷期であった前年同期に対し回復傾向を見せております。一方、海外においても、中国を代表とするアジア市場が急速に回復し、需要の底上げが見られております。

これらの環境の中、自動車用バックミラーは当第2四半期連結累計期間において、日本・アジア・北米各地域で売上高、営業利益ともに順調に伸ばすことができました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

日本

エコカー減税・補助金制度等の新車購入促進策による需要の継続により、自動車生産台数が増加した結果、売上高は21,276百万円、営業利益は2,271百万円となりました。

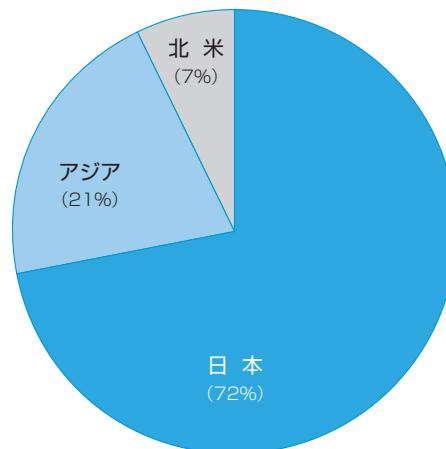
アジア

中国を中心とした新興国の経済成長により自動車生産台数の増加が顕著に見られ、バックミラーの受注も引き続き増加しております。売上高は6,158百万円、営業利益は1,058百万円となりました。

北米

経済政策の効果に伴う一般消費に回復傾向が見られ、自動車生産台数も堅調に推移した結果、売上高は2,042百万円、営業利益は96百万円となりました。

●地域セグメント別売上高



今後の課題と経営戦略・トピックス

今後の課題と経営戦略

今後の経済見通しについては、国内経済の円高の影響による企業収益の悪化懸念はあるものの、アジアを中心とした経済成長に牽引され、わずかではあります但しプラス成長に転ずることが見込まれます。

このような状況の中で、ミラーシステム事業では、自動車メーカー各社の生産量の変動に迅速に対応し、国内外の生産体制の適正化・効率化を図るとともに、バックミラーをはじめとする自動車用安全視認システムメーカーとして世界トップレベルのサプライヤーを目指してまいります。特に国内におきましては「安全」と「品質」を基本とし、仕入先も含め組織的な「安全推進活動」「品質改善活動」を展開してまいります。

海外におきましては、引き続き市場の拡大が見込まれる中国拠点において、嘉興市開発区内（当社子会社である嘉興村上石崎汽車配件有限公司の隣地）に新工場を建設しており、より一層の生産能力の拡充に努めてまいります。

また、国内におきましては徹底した原価低減活動を展開し原価を引き下げるとともに、設計技術力および製造技術力を一層強化育成し、お客様のニーズを先取りした高品質・高付加価値な新製品開発に努めてまいります。

オプトロニクス関連分野につきましては、ものづくりの基本である品質を第一とし、コスト競争力強化に向けた設計開発を行い、中国の協力会社とともに価格改善を進め、事業拡大を図ってまいります。

トピックス

国内における子会社設立のお知らせ

当社100%出資会社 株式会社村上開明堂コンフォームが平成22年7月1日より、営業を開始いたしました。

新会社は、建設市場ビジネスにおいて、環境にあった最適な事業体にする事で、より柔軟で効率的な経営を目指すことを目的に設立されたものであります。

【会社概要】

- (1) 会社名：株式会社村上開明堂コンフォーム
- (2) 代表者：青山芳博
- (3) 所在地：静岡県静岡市駿河区敷地2丁目5-30
- (4) 設立年月：平成22年6月
- (5) 主な事業内容：住宅、ビル、店舗等の外壁および
改装・リフォーム、ガラス工事
- (6) 決算月：12月
- (7) 資本金：60百万円

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成21年9月30日現在	当第2四半期 平成22年9月30日現在	前期 平成22年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	18,312	22,688	23,435
現金及び預金	6,286	10,127	9,823
受取手形及び売掛金	8,478	9,026	9,823
商品及び製品	819	651	878
仕掛品	489	583	468
未成工事支出金	327	179	215
原材料及び貯蔵品	1,208	1,157	1,194
繰延税金資産	516	627	686
その他	301	354	362
貸倒引当金	△ 116	△ 19	△ 16
固定資産	21,300	19,965	20,315
有形固定資産	17,189	16,110	16,165
建物及び構築物	3,792	3,670	3,659
機械装置及び運搬具	5,179	4,156	4,645
工具、器具及び備品	1,212	843	997
土地	6,318	6,710	6,311
リース資産	245	165	201
建設仮勘定	439	563	350
無形固定資産	566	535	544
投資その他の資産	3,544	3,319	3,605
投資有価証券	2,193	2,131	2,547
繰延税金資産	809	610	476
その他	545	640	645
貸倒引当金	△ 4	△ 63	△ 63
資産合計	39,612	42,654	43,751

科目	前第2四半期 平成21年9月30日現在	当第2四半期 平成22年9月30日現在	前期 平成22年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	12,448	12,776	14,508
支払手形及び買掛金	6,612	6,668	7,643
短期借入金	2,366	1,549	1,828
未払法人税等	502	1,363	1,636
製品保証引当金	356	380	393
賞与引当金	668	794	752
役員賞与引当金	20	25	20
関係会社整理損失引当金	—	—	43
資産除去債務	—	9	—
その他	1,920	1,984	2,190
固定負債	4,230	3,813	4,096
長期借入金	1,403	1,256	1,270
退職給付引当金	1,507	1,350	1,482
役員退職慰労引当金	902	925	925
資産除去債務	—	65	—
その他	416	215	417
負債合計	16,678	16,590	18,604
(純資産の部)			
株主資本	21,131	25,007	23,174
資本金	3,165	3,165	3,165
資本剰余金	3,528	3,528	3,528
利益剰余金	14,474	18,433	16,597
自己株式	△ 36	△ 119	△ 116
評価・換算差額等	395	40	392
その他有価証券評価差額金	744	708	963
為替換算調整勘定	△ 349	△ 668	△ 570
少数株主持分	1,407	1,016	1,579
純資産合計	22,933	26,063	25,146
負債純資産合計	39,612	42,654	43,751

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	22,918	29,477	54,740
売上原価	19,876	23,589	45,465
売上総利益	3,042	5,887	9,275
販売費及び一般管理費	2,410	2,476	4,987
営業利益	631	3,411	4,288
営業外収益	212	226	414
営業外費用	64	45	127
経常利益	780	3,591	4,575
特別利益	10	275	42
特別損失	2	151	148
税金等調整前四半期(当期)純利益	787	3,716	4,468
法人税等	585	1,546	1,879
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,169	—
少数株主利益	116	230	327
四半期(当期)純利益	85	1,939	2,261

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,756	2,685	6,857
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,171	△ 1,671	△ 1,677
財務活動による キャッシュ・フロー	179	△ 660	△ 691
現金及び現金同等物に 係る換算差額	159	△ 74	97
現金及び現金同等物の 増減額	923	278	4,586
現金及び現金同等物の 期首残高	5,228	9,815	5,228
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	6,152	10,093	9,815

国内外関係会社拠点 (平成22年9月30日現在)

株式会社村上開明堂精機
茨城県常総市鴻野山1422-1

株式会社村上開明堂化成
東京都千代田区内神田1丁目17番9号

株式会社湘南光膜研究所
静岡県藤枝市兵太夫748

嘉興村上石崎汽车配件有限公司(MIC)
浙江省嘉興經濟開發区正原路280号



Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)
575 Water Tower Bypass, Campbellsville,
Kentucky 42718

株式会社村上開明堂
株式会社村上開明堂ビジネスサービス
静岡県静岡市葵区伝馬町11番地5

株式会社村上開明堂コンフォーム
静岡県静岡市駿河区敷地2丁目5-30

株式会社エイジー
静岡県焼津市柳新屋77番地

株式会社村上開明堂九州
福岡県朝倉市鳥集院字串掛660番地1

村上開明堂(香港)有限公司
香港九龍官塘鴻圖道64號1字樓

MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO.,LTD. (MATCO)

531 Moo 4, Bangpoo Industrial Estate,
Tambol Praekasa, Amphur Muang Samutprakarn,
Samutprakarn 10280



Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)

1,Rojana Industrial Park, Moo 5,
Tambol U-Thai, Amphur U-Thai,
Pranakorn Sir Ayutthaya 13210



Murakami Saikyu (Thailand) Co., Ltd. (MST)

826/5 Moo 4, Bangpoo Industrial Estate,
Tambol Praekasa, Amphur Muang Samutprakarn,
Samutprakarn 10280



(注) 平成22年10月の本社移転にともない、本社住所が変更となりました。
上記の当社本社住所は、平成22年10月以降のものを記載しております。

株式の概況 (平成22年9月30日現在)

株式の状況

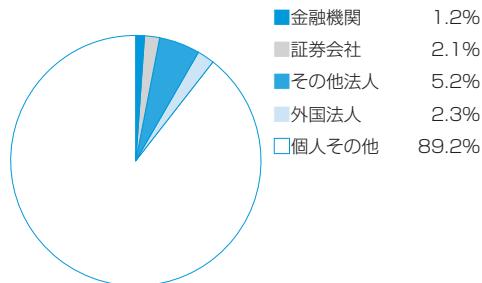
発行可能株式総数	29,900,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
株主数	981名

大株主

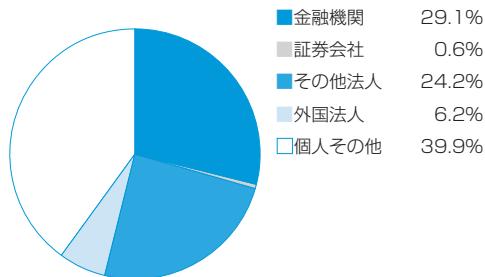
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
村上英二	1,491	11.3
株式会社豊英社	1,230	9.3
旭硝子株式会社	739	5.6
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック ファンド	700	5.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	642	4.9
村上太郎	546	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	507	3.8
村上開明堂社員持株会	473	3.6
株式会社静岡銀行	459	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティインベストメント株式会社信託口)	459	3.5

(注) 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●所有者別株主数



●所有者別株式数



会社の概況 (平成22年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社村上開明堂
設立	昭和23年3月27日
資本金	3,165,445,000円
発行済株式の総数	13,100,000株
事業内容	自動車用バックミラー、ファインガラスの製造、販売 ガラス、鏡、サッシの販売、加工、施工
従業員数	連結：2,566名 単体：910名

役員

取締役会長 (代表取締役)	武藤忠義
取締役社長 (代表取締役)	村上太郎
取締役副社長	杉本由朗
専務取締役	伊藤寧俊
常務取締役	岩邊直人
常務取締役	吉村勝行
取締役相談役	村上英二
取締役	川本正則
取締役	杉浦正己
取締役	豊長敬治
取締役	鈴木敏行
取締役	池谷道雄
取締役	増井邦夫
取締役	奥野雅治
監査役 (常)	吉村安巨
※監査役	小室太郎
※監査役	齋藤安彦
※監査役	神谷聰一郎

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

事業所

本社	静岡県静岡市葵区伝馬町11番地5
工場	藤枝事業所 (静岡県藤枝市) 焼津事業所 (静岡県焼津市) 大井川事業所 (静岡県藤枝市)

(注) 平成22年10月の本社移転にともない、本社住所が変更となりました。
上記の本社住所は、平成22年10月以降のものを記載しております。

国内子会社

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
株式会社村上開明堂九州	250	100.0
株式会社村上開明堂コンフォーム	60	100.0
株式会社湘南光膜研究所	50	100.0
株式会社村上開明堂化成	20	100.0
株式会社村上開明堂精機	17	100.0
株式会社エイジー	10	100.0
株式会社村上開明堂ビジネスサービス	10	100.0

海外子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率 (%)
ムラカミニューファクチャリングUSA株式会社	40,000 <small>千米ドル</small>	100.0
嘉興村上石崎汽车配件有限公司	6,000 <small>千米ドル</small>	90.0
ムラカミニューファクチャリング(タイランド)株式会社	180,000 <small>千パーツ</small>	100.0
嘉興村上開明堂汽车配件有限公司	18,000 <small>千米ドル</small>	100.0
ムラカミアンバス(タイランド)株式会社	100,000 <small>千パーツ</small>	49.9
村上開明堂(香港)有限公司	15,198 <small>千香港ドル</small>	100.0
ムラカミサイキュー(タイランド)株式会社	39,000 <small>千パーツ</small>	90.0

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告の方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。 http://www.murakami-kaimeido.co.jp/uslr/koukoku ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払の際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



村上開明堂

株式会社 村上開明堂

〒420-8550 静岡県静岡市葵区伝馬町11番地5

ホームページ <http://www.murakami-kaimeido.co.jp/>

